

方式・日程	問題番号	出題分野	出題内容
AⅠ方式 1月23日 問題▶P.110~	第1問	原始～古代	旧石器～古墳時代(細石器、サヌカイト、土偶、中国の歴史書、倭の五王、仏教の伝来)
	第2問	古代～中世	寺院に関する問題(興福寺、円覚寺、平等院鳳凰堂、東大寺、延暦寺、天龍寺、浄土信仰、臨済宗)
	第3問	近世～現代	農地経営に関する問題(田畑永代売買の禁令、地租改正、寄生地主制、小作地率、農地改革)
	第4問	近代以降	女性に関する問題(女子英学塾、職業婦人、新婦人協会、赤瀾会、婦人参政権獲得期成同盟会)
AⅠ方式 1月24日 問題▶P.114~	第1問	原始～古代	遺跡・遺物発見場所の位置(岩宿、三内丸山、登呂、志賀島、稲荷山)
	第2問	古代～近世	征夷大將軍(坂上田村麻呂、阿弓流為、桓武天皇、鎌倉幕府、足利尊氏、建武式目)
	第3問	近世～近代	富嶽園に関する問題(世界遺産、浮世絵、フェノロサ、外光派、白馬会、牧野伸顕)
	第4問	近代～現代	憲法に関する問題(私擬憲法、大日本帝国憲法、日本国憲法、憲法問題調査委員会)

傾向 テーマ別問題の出題が多い。標準レベルの問題が多く、文化史のレベルが高い。

① 出題形式

大問4つの構成で、小問数は1月23日実施の試験が43問、1月24日実施の試験が45問、大問1つにつき小問は5～15問と幅がある。テーマ別問題の出題が多く、単答式・空欄補充・組み合わせ選択となっている。解答方式はすべてマークシート方式である。

時代別では、旧石器時代から戦後までまんべんなく出題されており、標準レベルの問題といえる。

今年度の最大の特色は、複数の時代にまたがるテーマを取り上げていることである。たとえば、「征夷大將軍」の場合、この役職の地位の変遷をリード文として、平安時代から大政奉還までの関連する事項が多角的に出題されている。

② 出題内容

各時代を特徴づけるキーワードを答えさせる問題が多い。時代別では、旧石器時代から古墳時代にかけての問題数が多

く、各時代の代表的な道具・遺跡などについて、写真や地図を使って出題されている。奈良・平安時代は、仏教史、特に寺院や仏教美術に関する問題が多い。鎌倉～安土桃山時代については、時の権力者と関係の深い寺院や宗派が問われている。江戸時代に関しては、幕藩体制の根幹となる農村経営や化政文化の美術からの出題が中心で、明治時代以降については、大きく国の体制が変わる明治維新と戦後の占領政策などに焦点を当て、土地制度や政治、文化など多分野にわたって出題されている。

③ 難易度

テーマ別問題とはいえ、個々の問題で問われている内容を見ると標準的なレベルの問題といえる。特に対策を必要とするのは文化史の分野で、なかでも仏教の宗派や僧、寺院、仏像については、難易度の高い事項も出題される。

対策 教科書や資料集中心の学習を心がける。資料を使った問題になれよう！

① 教科書で基本を学習しよう

標準的な問題を確実に得点するには、教科書をしっかり読み込み理解する学習が効果的である。5W1Hの要素(いつ・どこで・だれが・なにを・なぜ・どうやって)を常に意識して学習する姿勢が大切である。キーワードとなる用語をしっかりと理解するために、1問1答式の問題集を活用するとよい。また、各時代の概要をつかんだ後は、政治史、経済史、文化史など、テーマ別に通史を学習しよう。

日本史の学習では、資料問題の対策が重要である。今年度は、原始時代から古代にかけて、典型的な遺跡の位置を問う地図問題が出題された。授業中に、遺跡や寺院に限らず、戦いや事件などがどこで起こったのか、歴史地図で位置を確認しておこう。さらに、現在のどの都道府県であるかをも知っておくとよい。

なお、資料問題で出されている写真は各時代の代表的なものに限定されている。口絵を含め、少なくとも教科書に掲載されているものは覚えておこう。教科書の写真には、キャプションという写真に添えた説明が記されている。この部分もしっかりと読んでおこう。

② 文化史の問題の対策を

政治史・経済史・外交史での出題は基本的な内容が中心であるが、文化史は出題数に占める割合が高く、必ずしも基本的な内容に限らない。文化史の対策としては、単純な暗記にとどまらず、教科書や資料集を使って実物を見ておくことが有用である。また、時代が近接する文化を比較し、それぞれの違いをとらえておくことも重要である。特に、仏教に関する問題はよく出題されるため、対策が必要である。

③ テーマ別問題の対策を

今年度のテーマのひとつ「富嶽園」に関する問題は、江戸時代後半から明治時代にかけての絵画を中心とする文化史である。作品の名称や作家を暗記するだけにとどまらず、文化がさかえた時代的な背景を把握しておく、得点を伸ばすことができる。

毎年、出題される傾向の強い文化史、仏教史のほかに、政治史、土地制度・税制の変遷、中国の王朝と日本の外交政策についても、テーマ別問題を実際に解いてみて経験値を上げておこう。